

## 「2020 広島教区代表者会議」の分科会テーマとお願い

教区宣教司牧評議会 評議員の皆様へ

広島教区代表者会議準備事務局

### 1. 分科会テーマについて

今夏(8月下旬)、実行委員会から各地区へ提示しました「分科会テーマ(素案)」について、各小教区、各地区のご協力を頂き、ご意見の収集と各地区にて取りまとめ頂いたものを、今秋(11月中旬)、実行委員会に提示頂きました。

皆さまからのご意見を要約しますと、以下の3点になります。

- 1) 良くできており、このままで良い。
- 2) 内容が難しく、理解しにくい。分からない。
- 3) 表現が抽象的であるため、具体的な内容を示してほしい。

### 2. 分科会テーマ(案)について

皆さまから頂いたご意見から、次の5つを『分科会テーマ(案)』として提案します。

- (1) 福音宣教
- (2) 平和
- (3) 多文化共生
- (4) 協働
- (5) 養成

### ★本日の教区宣司評への議案事項

2021年3月に分科会テーマを確定し、その後、公表する予定でしたが、本日、決定したい。

### 3. 5つの分科会テーマ(案)に対するキーワード・標語

過日、提示頂きましたアンケートから抽出されたキーワードと、分科会テーマをイメージしやすくするための標語を以下とします。

- (1) 福音宣教

#### 【キーワード】

- ◆教会の一員として、「役」を担ってもらうより、「喜び」を感じてもらうことを優先に
- ◆教区の目標(方針、テーマ、優先課題)の推進と継続性(フォローアップとサポート)
- ◆「平和」・「きょうどう」・「養成」のようにテーマ(3本柱)化することの是非
- ◆目標(テーマ)を「具体案(具体的行動)」で示すことの是非
- ◆小教区・協働体・地区・教区レベルで独自の振り返りや、評価の必要性
- ◆「教会行事が多い」との声に対する懸念と解消について
- ◆「祈り」と「行動(活動)」の調和を目指して

- ◆ミサの減少と司祭不在のときの主日の集会祭儀の広がり（取り組み）について
- ◆青少年（働き世代含む）が教会に集うためには
- ◆青少年（働き世代含む）に役を担ってもらうためには
- ◆SNS等の活用が、新しい福音宣教のためのひとつの手段に

【標語】

- ①祈りと活動を通して、みんなでともに喜びをもって福音を伝えよう
- ②新しい体制、取り組み、様式を具体化して、福音宣教を推進しよう

(2) 平和

【キーワード】

- ◆教皇フランシスコのメッセージ「すべてのいのちを守るために」
- ◆戦争や核兵器の廃絶のために、わたしたちがすべきこと、わたしたちにできること
- ◆私たちは喜びをもって未信者の人、教会から離れている人を招いているだろうか
- ◆教会を離れた人への呼びかけと交わり、特に受洗後の教会離れ
- ◆教会から離れている人の声を聞こう（声が聞きたい）

【標語】

- ③身近な平和から社会（世界）の平和を実現する「平和の使徒」となろう
- ④教会から離れている人とのきずなを大切にし、その想いを聴こう

(3) 多文化共生

【キーワード】

- ◆すべての信者が教会に集い、ミサに与ることで「安らぎ」を感じてもらえるように
- ◆国際ミサの推進と母国語ミサの大切さ、実施する頻度と日本語ミサとの調和
- ◆在住外国籍の人との交わり、言葉（言語）の壁を乗り越えて
- ◆在住外国籍の人の教会体制・委員会等への参画を推進する
- ◆在住外国籍の人に、教会維持費の必要性の理解と協力を
- ◆在住外国籍の人の支援体制づくり（日本語教室、生活相談窓口など）
- ◆在住外国籍の人の理解のために（外国語教室、外国文化に関する教室など）
- ◆小教区によっては、在住外国籍の人が少ないところもある。こうした認識も必要

【標語】

- ⑤言葉や文化の違いを受け入れ、互いに理解し合い、協力しよう
- ⑥教会に集うすべての人が、温かさを感じる「神の家族」を目指そう

(4) 協働

【キーワード】

- ◆少子高齢化の今、わたしたちが取り組むべきこと
- ◆小教区体制（組織・行事など）の簡素化と見直し
- ◆小教区の統廃合への危惧
- ◆協働体制の推進について
- ◆小教区・協働体レベル、地区レベルの推進力を高めていく必要性
- ◆小教区の「違い(差)」についての課題

- ◆協働体・地区の「違い(差)」についての課題
- ◆小教区内・協働体内・地区内での宣教司牧活動の「違い(差)」
- ◆「違い(差)」があるのは当然のこと、それを受け入れ、乗り越えて行くこと
- ◆小教区内・協働体制内・地区内の信者への情報伝達と共有
- ◆「伝える」こと大切さ
- ◆高齢の人に伝えることの壁を乗り越えて
- ◆聖職者・修道者・カテキスタと信徒の交わり
- ◆司祭同士、修道者同士、信徒同士、あらゆる立場での互いの交わり
- ◆距離的弊害、移動の不便さがある中山間地域に住む人との交わり
- ◆青少年（子ども含む）との交わり
- ◆人と人との「交わりの場」を大切に

【標語】

- ⑦様々な課題を共有して、ともに考え、助け合い、一緒に乗り越えよう
- ⑧互いの違い(差)を受け入れ、互いの思いを伝え合い、協働しよう

(5) 養成

【キーワード】

- ◆司祭・修道者・信徒の高齢化と減少
- ◆召命促進のために、わたしたちができること
- ◆受洗後の信仰養成の不足と生涯養成の大切さ
- ◆司祭の生涯養成、信徒の生涯養成、子を持つ親の養成、入信前後のケアなど
- ◆教会学校の大切さとリーダーの養成、カテキスタの養成
- ◆在住外国籍の人のリーダーの養成

【標語】

- ⑨互い（司祭、修道者、信徒）の召命をともにはぐくみ、支え合おう
- ⑩互いの生涯養成やリーダー養成を通して、次世代へ信仰を継承しよう

#### 4. 分科会テーマに関連した具体的提言（素案）について

今後は、教区代表者会議の当日に提案する具体的提言（案）をまとめていくことが、大きな課題になってきます。

皆さまからのご意見にもありました「具体的な内容を示してほしい」との要望において、まず、各分科会テーマのキーワードと標語に沿った『具体的な提案』を導き出し、その後、具体的提言（素案）にまとめていく必要があります。

別紙は、『具体的な提案』としての例（サンプル）です。

来夏に予定している具体的提言（素案）の提示に向けて、様々な機会を通して皆さまからのご意見をお聞かせください。

## 5. 代議員（代表者会議出席）の選出について

これから教区代表者会議当日までは、具体的提言（案）をまとめていく期間であり、これからの広島教区の宣教司牧方針を決定していくための大事なプロセスの期間です。

それを教区内で充実させていくためには、代議員の方が内容を理解して頂くことはもちろんのこと、教区民一人ひとりとの橋渡しとしての役割を担って頂く必要があります。

また、代議員の方は所属する小教区において、日々、どのような課題を抱え、どのテーマ（キーワード）に興味があるについて、小教区の中で意識の共有を図ることや、議論を重ねて頂くことが必要になります。

そのために、早めに代議員の候補者を選出して頂きたいと思います。

今後、地区や実行委員会からの情報も、その方を中心に展開していくことが必要です。

別紙、「2020 教区代表者会議代議員選出基準について（案）」

「2020 教区代表者会議代議員名簿（人数枠確認用）」

上記をご参考にして、代議員候補者の選出をイメージください。

## 6. 来年1月に開催される各地区宣教司牧評議会へのお願い

来年1月、各地区で開催予定の地区宣教司牧評議会の中で、次のことを議題として取り入れて頂くようお願いいたします。

### (1) 具体的な提言（素案）作成に向けての意見や提案をお寄せください。

前4項の分科会テーマに関連した具体的提言（素案）について、各地区の宣司評の中で話し合ってくださいと共に、小教区に持ち帰って頂き、後日、意見や提案を募って頂くようお願いいたします。

なお、各地区には平和の使徒推進本部（兼、代表者会議実行委員会）メンバーの方がおられますので、その方が各地区宣司評のメンバーでなければオブザーバー参加させて頂くと共に、各地区からの意見をそのメンバーの方に伝えて頂くようお願いいたします。

### (2) 小教区からの代議員候補（代表者会議出席）予定者の選出について

前5項の代議員（代表者会議出席）の選出について、各地区の宣司評において、趣旨、選出基準（案）を説明し、2021年2月中に代議員候補（予定者で結構です）を選出して頂くようお願いいたします。

上記、2点についてお願いします。

なお、各地区の平和の使徒推進本部（兼、代表者会議実行委員会）メンバーの方は、上記のことが滞りなきようご支援をお願いします。

また、状況について、平和の使徒推進本部会議にてお知らせください。

以上